

6

2025 年 6 月号  
発行・浜田市ふるさと体験村  
発行人・太田章彦  
発行日・2025/6/1  
電話・0855-48-3310  
島根県浜田市弥栄町三里 257-4



浜田市ふるさと体験村と  
浜田市ふるさと体験村にまつわる  
情報を伝えるために誕生した新聞です。  
月に一度、弥栄町内だけに  
発行しています。

## GW と夏のあいだ

あつという間にゴールデンウィークは過ぎ去り、夏に向けた準備期間のような日々を過ごしています。で、どんな準備をしているかというところが、なんと、ひとりは体験と宿泊がセットになった「夜のそば打ちプラン」のモニターツアーを繰り返しています。

宿泊をセットにしているの、夜にそば打ちができる！バーカウスターに腰掛け、自分で打ったそばで晩酌ができる。そば湯で焼酎を割ったりも、できる。宿泊すること広がる可能性を最大限生かしたプランになるようにお客さんからアイデアをいただきます。そこから試行錯誤しています。



ば屋ですし、そば打ち台があるし、バーカウスターもあるし、ログハウスもある。農家さんから仕入れた有機野菜もあるし。上手く組み合わせたら、なんだか、体験村の過ごし方の「良い定番」ができそうな気がします。そんな予感がしています。

そして、もうひとつが「1週間滞在プラン」です。ふるさと体験村まるごとをひとつの集落に見立てて、実際に暮らしてもらおう！というものです。ログハウスも古民家も、1泊2日の滞在ではとても使いきれないような設備（言い換えれば暮らしていける設備）があるし、一方で、ありがたことに弥栄町に移住を検討していただいている方も一定数おられるのでそういった方々に向けてや、ワーケーション、二拠点居住としての活用もできるかもしれません。もしそれが実現したら、ふるさと体験村が弥栄町の入り口として、かつ交流拠点として機能する。そんなことができるかもしれない。暮らすような滞在、ではなく、本当に暮らしが提供できるかもしれない。そんなことを想像して準備を進めています。早くて7月からプランの販売開始を予定しています。

## 6 月のやさか表現大学

6 月 14 日に実施予定で、農学科の内容は、夏に野菜がたくさん収穫できるように、ずばり「種蒔きと苗植え」をします。去年の様子を ED に更新しているの、参加をご検討される方は事前にそちらを膨らませておいてください。「やさか表現大学」という名前前でインスタグラムのアカウントも更新していますので、合わせてそちらもご確認ください。また、今回は久しぶりに写真学科も復活しますので、興味のある方はぜひよろしくお願ひします。

## やさかフットサルナイターリーグ

やさかフットサル場で、毎週水曜日の夜 20 時から 20 分ハーフを 2 試合。それが 10 月まで続きます。僕は「たんぽぽ」というチームで戦っています。人手不足と高齢化という、地域課題そのものなチームですが、幸い、活気と楽しさが溢れています。しんどいやつぱりしんどいので、「個サル」も大歓迎ですので、助っ人大募集です。

## 訪問販売です

毎週木曜日に、訪問販売を始めています。主にお弁当とサンドイッチ。たまにお菓子も販売します。

かれこれ 2 ケ月取り組んできて、「大盛りが欲しい」「野菜を多めにしたい」「サラダが欲しい」といった声をいただけるようになりました。少しづつですが、そういった要望をすでに実現できたものもあります。

地域の声に応え、どんな地域に必要な場所になっていき、回り回って周辺の地域から、「弥栄には体験村があつていいねえ」と羨ましがられるようになりたい。そんな妄想をしつつ、木曜日に働いている皆さんに力を提供していきます！今月もよろしくお願ひします。



## 仕出しも！

ちょっとした集まりや、地域行事のあとの食事に、体験村の仕出しはいかがですか？注文数によっては配達も対応します。ご検討の段階からご相談いただくのも大歓迎です。よろしくお願ひします。